



広報 KOGA NO.64

関東ド・マンナカ宣言都市 古河

今年も笑顔が多い
年になりますように

こが 古河



目次

- 2 市長年頭あいさつ
- 4 公共交通
- 6 男女共同参画社会
- 8 火災の多い季節
- 9 遠きにありて
- 10 カメラルポ・市民号
- 12 まくらが人物列伝

2011

1

JANUARY



明けましておめでとうございます

市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと存じます。

また、日頃から市政へのご支援ご協力に対しまして、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、合併5周年の記念すべき年であることから、合併の記念日である9月12日に、総合体育館にて約1,000人の出席者を得て盛大に合併5周年記念式典を開催しました。また、昨年は、古河公方として史上名高い足利成氏が鎌倉から古河へ座を移して、555年の記念の年でもあることから、歴史的経緯や地理的な特性に鑑み、9月7日には、古河市が関東の中心にあり、中核的な都市へと発展していくことを目指す「関東ド・マンナカ宣言式」を実施しました。

古河市は、合併から5年を経て、合併効果を最大限に活用し、まちづくりに取り組んでおります。円高等の影響もあり依然として厳しい経済情勢の中でも、財政力を格段に強化しつつ、国からの地方交付税等の財源を大幅に増額確保して、「グレードアップ予算」を編成し、市民サービスの向上に努めております。

主なものとして、子育て支援では、全国的課題となっている待機児童ゼロの実現や、医療費助成の中学生への拡大などの事業を展開しております。8月7日に行われた花火大会では、三尺玉3発、打ち上げ総数2万5,000発と関東最大の花火大会とし、約50万人の来場者を迎え、地元商店街も賑わいをみせました。

さらに、昨年12月22日、日野自動車株式会社と茨城県開発公社との間で、古河名崎工業団地の用地取得契約が正式に締結されました。今後、工場建設に向けて準備が進められることと思います。また、教育面では、平成25年4月に県西地区では初となる県立の中高一貫教育校が新設されることとなっております。横山町の「地域交流センター」、「道の駅」、「筑西幹線道路」といったプロジェクトにも積極的に取り組んでおります。

7月には、地方交付税等が当初の見込み額を上回ることが確定したことにより、8月補正予算を編成し、市民サービスの向上と市独自の地域経済の活性化を目的に「グレードアップ経済対策」にも取り組み、今後6年間の古河市の方向性を示す「古河市総合計画後期基本計画」の年度内策定に向けて、現在、精力的に作業を進めているところです。

「関東ド・マンナカ宣言」をきっかけとして、古河市が名実共に関東の中核的な都市へと発展できるよう、なお一層まちの活性化に取り組んでまいります。

結びに、本年が市民の皆様に取りまして、健康で幸せに満ちた1年となりますことを、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

古河市長 白戸伸久

迎春

題字は鳳龍会・庄司留雄さん(横山町)の作品です

広報古河 2011.1.1

3

写真は八俣送信所付近から筑波山を望む

こんなに便利になりました 活用しましょう! 公共交通

平成22年度からバス路線を見直し、乗継割引制度を新設して市内の公共交通が今までよりも使いやすくなりました。

循環バス「ぐるりん号」

古河地区を巡回するバスで、東・西・南の3コースがあります。市民などなたでも利用できます。

- 運行日 毎日
- 料 金 無料



デマンド交通「愛・あい号」

総和・三和地区を走る乗合タクシーです。玄関口まで迎えにいきます。

- 運行日 月曜日から金曜日
- 料 金 1回(片道)大人300円、子ども100円

※茨城西南医療センター病院は大人500円、子ども100円。
※利用するには事前登録が必要です。
※利用できるのは総和・三和地区にお住まいの人です。



凡例

- ぐるりん号南コース (green dashed line)
- ぐるりん号東コース (blue dashed line)
- ぐるりん号西コース (orange dashed line)



総和庁舎にバス待合所を設置

平成22年12月から市役所総和庁舎前にバス待合所を設置しました。屋根付きの上、ベンチもあるので、バスの待ち時間が快適になりました。



■ここが新しくなりました

- ①ぐるりん号東コースの運行ルートを友愛記念病院まで拡大しました
- ②古河駅方面へ向かう「愛・あい号」利用者は乗継割引を利用できます
- ③古河駅と市役所三和庁舎間で路線バスの運行が始まりました
- ④市役所総和庁舎前にバス待合所を設置しました



三和庁舎に路線バスが乗り入れ

平成22年11月から市役所三和庁舎(旧庁舎跡地)に路線バスが乗り入れています。

古河駅東口と三和庁舎を小堤(国道125号線)経由で結びます。



乗継割引

指定の乗継場所でデマンド交通から路線バス(古河地区方面)へ乗り継ぐと路線バス運賃が割引になり、片道100円(子ども50円)でバスが利用できます。



凡 例

- バス路線
- 朝日自動車
- 茨城急行自動車
- JRバス関東

【問】

○「ぐるりん号」「愛・あい号」については
総和庁舎(本庁)企画課 ☎92-3111

○路線バスについては
ジェイアールバス関東(株)古河営業所 ☎30-7696
茨城急行自動車(株)古河営業所 ☎33-0787
朝日自動車(株)境営業所 ☎87-0780

毎週利用しています

今まで駅方面に行く場合は、誰かにお願いしてたのですが、公共交通の乗り継ぎができてから、気兼ねなく利用しています。特に天気が悪い日は助かります。また、街の風景が季節ごとに変わるのを目にするのも楽しみの一つです。何と言っても自宅の玄関先から目的地の玄関先まで届けてもらえるのは「愛・あい号」の魅力ですね。



斉藤陽子さん(尾崎)

男女共同参画社会を目指して

～2月7日～13日は古河市男女共同参画週間です～



男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的・経済的・社会的・文化的利益を享受することができ、ともに責任を担うべき社会のことを言います。

市では、男女の人権が十分に尊重され、豊かで活力に満ちた男女共同参画社会の実現を目指すため、さまざまな取り組みを行っています。

【問】 総和庁舎(本庁)

男女共同参画室 ☎92-3111

■男女共同参画社会を実現するために、こんな活動をしています

●一人ひとりが幸せな社会のために各イベント会場で積極的にPR

男女共同参画推進会議は、関東ド・マンナカ祭り、三和産業祭・さんさんまつり、古河よかんべまつりにて、男女共同参画PR用ポケットティッシュと条例等を掲載したリーフレット、(仮称)男女共同参画古河市民ネットワークの登録者募集チラシを配布し、男女共同参画社会の実現に向けての啓発活動を行いました。



●高校生を対象にデートDV防止講演会を行いました

殴ったり蹴ったりする、相手の携帯をチェックする、友達付き合いを制限するなど、交際相

手からの暴力は「デートDV」と呼ばれ、誰にでも身近で起こる可能性があります。市では、「デートDV」について理解を深めていただくため、11月19日、古河第二高等学校の1年生を対象に、デートDV防止プログラム・ファシリテーターの竹内由紀子氏を講師に迎え、自分や友人、交際相手を被害者や加害者にしないために、大切な人を傷つけず、よりよい関係を築く方法についての講演会を行いました。



<講演会に参加した生徒の感想>

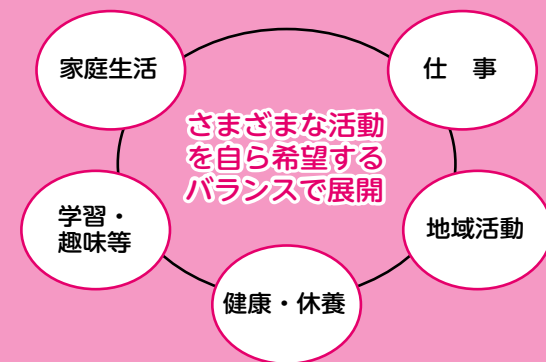
- ・男性だけでなく女性からのデートDVもあり、とても深刻なことだと思いました。(男子)
- ・他の人を傷つけないように生きていきたいと思いました。(男子)
- ・互いに信頼できる関係でいられることが一番の幸せだと思いました。(女子)

■ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現を！

ワークバランスとは、一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域社会などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階においてさまざまな生き方が選択・実現できる社会のことです。

このような社会を目指す取り組みにより、男女ともに働きやすい職場環境や男性の家庭生活への参画などが実現し、男女共同参画社会につながります。

●個人のワーク・ライフ・バランスが実現した姿



「ワーク・ライフ・バランス」推進の基本的方向報告より

■改正育児・介護休業法について

育児をしながら働く人が仕事と生活を両立できるよう、平成4年にスタートした「育児休業法」。その後、平成11年に介護休業が、平成17年には子どもの看護休暇が制度化され、平成22年6月30日から改正育児・介護休業法が施行されています。この改正法は、女性の育児休業取得は当たり前になっている一方で、男性の育児休業取得は依然として少ない中、子育て期間中の働き方を見直し、仕事を続けやすい仕組みづくりと父親も子育てができる働き方の実現を目指しています。

Q 主な改正点を教えてください

- A1 母親が専業主婦や育児休業中であっても、父親が育児休業を取得できます。
- A2 両親が育児休業をともに取得する場合、取得できる期間が、子どもが1歳2カ月までに延長されます。
- A3 父親が子の出生後8週間以内に育児休業を取得した場合、特別な事情が無くても、2度目の育児休業が取得できます。
- A4 小学校就学前の子どもが2人以上いる場合は、子どもの看護休暇が年10日まで取得できます。

今、子育てを積極的に楽しむ父親が「イクメン」と呼ばれ注目されています。厚生労働省では「イクメン」をより多くの人に周知し、男性の育児休業取得・育児参加を推進するための広報事業として、「イクメンプロジェクト」がスタートしています。詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<http://www.ikumen-project.jp/index.html>

■日本女性会議2010にも参加しました

男女共同参画社会の実現に向けて今ある問題の解決や、参加者の交流を目的とした全国規模の会議である「日本女性会議2010きょうと」が国立京都国際会館にて開催され(参加者3,200人)、市の男女共同参画推進会議の委員が参加してきました。

【大変有意義でした】



古河市男女共同参画
推進会議委員
岡野 當子さん

第27回日本女性会議は、京都らしい演出の中、分科会では有意義な意見交換が活発に行われ、記念講演では、渥美雅子・剛治ご夫妻が「自由で豊かなパートナーシップ」をテーマに、経験に基づいたわかりやすいお話と講談をおもしろおかしく披露してくれました。パネルディスカッションでは、「異文化コミュニケーション」をテーマに、力強い意見が交わされ、特に、男女とも自立とケアがポイントではという事が印象的でした。

全国の仲間たちと親交が深められ、「来年またお会いしましょう」と学んだ事をお土産にお別れしました。多くのスタッフとボランティアに支えられ、素晴らしい運営だったことに感謝しております。

火災の多い季節です

～『消したかな』あなたを守る 合言葉～



寒さもいっそう厳しくなり、家庭でも暖房器具を使う機会が多くなりました。

また、空気も乾燥し、火災が発生しやすい季節でもあります。火の取り扱いには十分注意しましょう。

■外出や就寝前には必ず火元の確認を

冬の暖房といえば「ストーブ」と「こたつ」などがありますが、これらの“つけっぱなし”による火災が冬になると多くなります。お出かけ前やおやすみ前には、忘れずに暖房器具の消火の確認をお願いします。

また、台所で鍋をかけたままその場を離れてしまい、起こる火災も多発しています。火にかけたまま、その場を離れてしまうと、火にかけたことを忘れ、他の用事に気を取られているうちに台所から焦げ臭いにおいがして……ということになりかねません。大切な財産を失わないためにも、火の元の確認は怠らないようにしましょう。



■消防団の分団名が変更になりました

消防団では、平成23年1月1日から分団の名称を統一しました。古河地区・総和地区・三和地区の順に「古河市消防団第1分団から第27分団」となりました。これまでの、古河第1分団から古河第8分団までを第1分団から第8分団とし、総和第1分団から総和第10分団までを第9分団から第18分団としました。さらに三和第1分団から三和第9分団までを第19分団から第27分団とし、消防ポンプ車と分団詰所の銘板をそれぞれ変更しました。なお、分団の担当区域はこれまでどおりです。



■「合併5周年記念」消防春季点検式を開催

2月27日(日)には、中央運動公園イベント広場および総合体育館において古河市消防春季点検式を開催します。第1分団から第27分団の消防ポンプ車が集結し、消防団員の規律正しい姿を披露します。ぜひ、ご覧ください。

消防団員を募集しています

市では火災や災害で活動する消防団員を随時募集しています。市民の生命、財産を守る消防団活動を試みませんか。



【問】総和庁舎(本庁)
消防防災課 ☎92-3111



▶「鴻巣びっくりひなまつり」ではひな壇が29段、高さ6.45mにもなる日本一高いピラミッドひな人形が会場に飾られています



平成4年、結婚を機に27年間を過ごした古河市から、埼玉県浦和市(現さいたま市)に移り住みました。緑の多い街で過ごし、4年後に一人娘が誕生しました。それまでも折に触れ、実家のある古河へは足を運んでいましたが、子どもの誕生とともに、よりいっそう頻繁なものとなりました。子どものお宮参りや七五三などの節目となる行事は、実家近くの雀神社で行ってきました。

浦和で7年を過ごした後、同じく埼玉県鴻巣市に転居しましたが、一年程で転勤の為、アメリカのミネソタ州へ移ることとなりました。ミネソタはアメリカ中央北部、カナダと国境を接する州です。真冬には-20度以下にもなり「アメリカの冷蔵庫」との異名がある自然環境の厳しいところです。しかし、たくさんの湖と美しい自然があり、夏には夜10時ごろまで明るく、ホタルが飛び交います。冬にはダイヤモンドダストが見られ、シカやウサギなどが雪の中に姿を見せてくれます。

日本ではお目にかかれないような大自然の中、異文化に触れ生活することで得るものも多かった反面、日本の素晴らしさを実感することとなりました。ミネソタで3年半を過ごし、再び鴻巣へ戻り現在に至ります。

鴻巣市は、花と人形の町として知られ、市内にはたくさんの花が植えられ、まだまだ自然のたくさん残るととても素晴らしいところです。荒川が流れ、水田が広がる風景は、古河とよく似たところもあり、私にふるさとの雰囲気を感じさせてくれます。



鴻巣市在住
飯島栄さん(中央)とご家族

現在は両親も他界し、実家もなくなりましたが、古河には多くの友人がおり、またたくさんの懐かしい思い出があり、私や私の家族にとっても大切なふるさととなっています。

そして、これからも古河市のさらなる発展を願っております。



楽しかった市民号 笑顔があふれた2日間でした

新「古河市」合併5周年記念・古河市民号～深秋の山形・新潟周遊の旅～が11月15日～16日、16日～17日の2班にわかれて実施されました。参加人数は総勢319人。1日目は東北道・山形道を通り山形県鶴岡市のあつみ温泉へと向かうコースで、大日坊瀧水寺や羽黒山神社を拝観し、宿泊場所のホテルへ。ホテルの夕食では大宴会場で、抽選会やアトラクション、カラオケなど催しもので大変盛り上がり懇親を深めました。また、2日目は新潟市、三条市などを経由し現地の特産品のショッピングなども楽しみ、参加した皆さんは大いに満足した2日間になりました。





5



6



7

1 市内の集合場所からあつみ温泉まで貸切バスで向かいました
 2 建物には雪囲いがされていた大日坊瀧水寺を拝観しました
 3 バスから見えたうっすらと雪化粧をした山々
 4 バスの中はみんな和気あいあいでした
 5 往路の昼食では山形郷土料理にみんなで舌つづみを打ちました
 6 新鮮な海鮮物のショッピングを楽しみました

7 新潟せんべい王国では素焼きのせんべいを賞味しました
 8 宿泊した宿では温泉にゆったりとつかり現地の名物を堪能しました
 9 懇親会では抽選会、アトラクション、カラオケなど盛りだくさんで笑いが絶えませんでした
 10 みんなで一緒に夕食を楽しみました
 11 皆さん、たのしい思い出ができました



8



9



11



10

まくらが人物列伝

第18回

はらやうゆうさい
原羊遊斎

-古河藩の御用蒔絵師

(1769-1845)

せつ か もんまき え いんろう
「雪華文蒔絵印籠」-古河藩ブランドの小品

江戸時代、印籠は、印や朱肉、薬を携帯する小箱として、江戸時代のおしゃれに欠かせぬ小物でした。根付や紐で帯に提げるその意匠は、ちらりと人目にふれるおしゃれな小物であり、粋を作る大切な道具であったといってよいでしょう。

ところで、江戸後期の古河藩土井家では、借金相手との渉外手段として、このおしゃれアイテムを巧みに利用していました。図版は、歴史博物館に所蔵される「雪華文蒔絵印籠」。古河藩主土井利位の観察した雪華模様を蒔絵表現する印籠は、現在、鷹見家伝来品を含め4点の伝存が確認されています。いわば古河藩独自ブランドの商品開発、日常使用される印籠を唯一無二の高級品に仕立てるあたりの妙案は見事というべきでしょう。



▲原羊遊斎『雪華文蒔絵印籠』国重要文化財

う。実際、その試みの成功例を『鷹見泉石日記』から読み解くことができます。たとえば、熊本城主の細川家の事例では借金4,000両に対するお礼の品として用いられ、大津屋という商人の場合、借入金返済に対する延引交渉の切り札としてこの印籠が贈答されるなど、その活用的一端をかいま見ることができるのです。

古河藩御用蒔絵師、原羊遊斎の誕生

さて、この印籠のブランドイメージは、二つの要因によって形成されました。雪華模様ことは既に述べましたが、いまひとつは、制作者に、江戸後期の漆芸の世界に彗星のごとく登場した原羊遊斎を起用したことでしょう。弟子を率いて蒔絵工房を経営し、数多くの優品を世に送りだした羊遊斎は、こんにち、江戸漆芸史を代表する人物

と評価されています。その半生は、謎に満ちており詳らかにしない点も多いのですが、少なくとも寛政9(1797)年29歳のときには古河藩主土井利厚の依頼で手箱を制作、古河藩土井家中の御用蒔絵師として活動するようになりました。なかんずく彼が名声を博するのは、酒井抱一を筆頭とする江戸琳派の作家との合作を契機としますが、両者を取り持ったのも他ならぬ利厚であり、古河藩が羊遊斎をバックアップしていた様子をうかがうことができるでしょう。羊遊斎ブランドはますます評判となり、大名茶人として著名な松平不昧の信頼も得てその注文に応じています。そのほか、谷文晁、大田南畝、亀田鵬斎、市川團十郎らとの華やかな交流関係も、羊遊斎ブランドの印象にプラスに働いたことでしょう。

天保10(1839)年4月に完成した羊遊斎作「雪華文蒔絵筆筒」は、藩主土井利位の本丸老中昇進を画策した古河藩によって、大御所徳川家斉へ献上されました。そして同年12月、土井利位は見事に本丸老中への就任を果たしています。残念ながらその作品は伝えられておりませんが、殿さまのトレードマーク「雪華文」と並ぶブランドイメージとして、羊遊斎作品がいかに古河藩で大切にされていたかわかるでしょう。

土井利位の老中辞任の翌年にあたる弘化2(1845)年12月24日病没。77歳でした。

古河歴史博物館学芸員 永用俊彦

叙勲・褒章・大臣表彰を受賞

秋の叙勲・褒章

旭日単光章



関根村夫さん
(83歳、諸川)
元県弓道連盟副会長

瑞宝小綬章



小原大森さん
(71歳、女沼)
元陸自古河副処長

瑞宝小綬章



渡辺敏也さん
(74歳、西牛谷)
猿島厚生病院長

瑞宝単光章



稗田宗四郎さん
(74歳、古河)
元国鉄職員

危険業務従事者叙勲

藍綬褒章



青木 馨さん
(82歳、下大野)
元農林業調査員

瑞宝単光章



川又千波さん
(86歳、緑町)
元県警部

瑞宝単光章



菅野耕夫さん
(72歳、西牛谷)
元警視庁警部

瑞宝単光章



加藤 進さん
(61歳、桜町)
元3等陸尉

大臣表彰

法務大臣表彰



綾部英雄さん
(71歳、小堤)
保護司

各種表彰

茨城県表彰

- ・ 峯金治さん(82歳、下大野)
元県少年指導委員
- ・ 山口篤二さん(74歳、古河)
県老人クラブ連合会会長

第38回花と緑の環境美化コンクール 「第4部門学校の部」

- ・ 県知事賞
駒羽根小学校
- ・ 県教育委員会教育長賞
上大野小学校



高さ12メートルの巨大アーチ



古河駅東口

KOGA IllumiNatale ～コガ ルミナターレ～

ネーブルパークでは、12月10日～31日の間、会場内をLED(発光ダイオード)45万球を使用したイルミネーションで彩り、訪れた人たちを楽しませました。10日の点灯式ではスイッチオンと同時に65発の花火を打ち上げ、23日にはゴスペルやジャズライブなどのクリスマスイベントが行われ、家族連れなどでにぎわいました。なお、古河駅西口・東口ロータリー付近でも12月中、シャンパンツリーなどが幻想的な光を放ち、多くの人たちの目を和ませました。



藤棚



光のじゅうたん



ツリー

伝統の華麗な舞 女沼のささら

11月14日に女沼香取神社にて「女沼のささら」(古河市指定無形民俗文化財)の舞が奉納されました。寛永11(1634)年日光東照宮地鎮祭の際に、地固めのため招かれ、その功により金の幣束と福草履^{へいそくしよくぞうり}を授けられたという12幕の舞の内、厄除けや五穀豊穡などを祈願して伝承が残る10幕が勇壮かつ優美に演じられました。女沼さらら保存会では下辺見小学校の児童にも指導を行い、当日も6年生の児童が元気に2幕の舞を披露してくれました。



▲保存会では新しい会員を募集して後世に伝承することに努めています

環境にやさしい まちづくりを推進

11月20日、市民一人ひとりが、環境にやさしい行動を実践できるよう普及・啓発を図ることを目的として、ECOフェスタ古河2010が三和健康ふれあいスポーツセンターで行われました。

当日は、お天気キャスターの森田正光氏を招き「異常気象と環境問題」をテーマにした基調講演や、小学生によるエコ・スクールの活動内容発表などがあり、参加した約1,000人の来場者は環境保全・地球温暖化防止等について、さらに理解を深めることができました。



▲会場では環境にやさしい品物がたくさん紹介されていました

交通安全 街頭キャンペーン

12月1日、年末の交通事故防止県民運動(12月1日～31日)にあわせて、市役所・古河警察署・交通安全関係団体などが、市内の交差点で、街頭キャンペーンを実施しました。

自動車の運転手に交通安全啓発のチラシや啓発グッズなどを配布。自転車や歩行者に気を付けて運転するように、注意を呼び掛けました。

交通安全はみんなの願い。歩行者も運転者も交通ルールを守って、交通事故に遭わないように心掛けましょう。



▲上辺見交差点で行われた街頭キャンペーン

初冬の夜空を熱気で包んだ提灯竿もみまつり

12月4日、関東の奇祭と知られる「古河提灯竿もみまつり」が古河駅西口前で盛大に行われました。150回を数えるこの伝統の祭りに訪れた人は約7万人。落語家の春風亭柳橋さんの司会進行とともに、激しくぶつかり合う提灯の動きに合わせて観客も一体になり、大きな声援を送り、師走の一夜をみんなで楽しみました。



▲提灯のろうそくの火が消えないようバランスを取ることも大切です



▲激しく竿をもみ合い、熱戦を繰り広げました

My Hobby

風と一体になって「乗馬」

辻田美津子さん（上辺見）

常に"一度はやってみたいスポーツ"の上位を占めている乗馬。他のスポーツは三日坊主に終わった人でも、乗馬なら長く続けられるという声をよく聞きます。時には馬が先生になってくれたり、一頭一頭違う馬の性格を探ってみたり、馬の背中に揺られて自然を満喫したり……とそこにはたくさんの楽しみがあるそうです！ 今回は言葉の通じない馬との対話を楽しんでいるという辻田さんにお話を伺いました。

願いがかなった馬との出会い

4年前近くの乗馬クラブが新しくオープン。ためしに乗ってみたい？ と誘われたのがきっかけ。乗馬は高根の花だと思っていたのですが、小さいころから、馬に乗りたくて漠然と考えていたそうです。

馬は近くで見ると想像以上に大きく、そして穏やかでやさしく、また、その姿は非常に凛々として美しかったことが強く印象に残っています。小さいころからの夢がかなった喜びは本当に大きく、それからは、日に日に乗馬に夢中になっていきました。



▶動物と一緒にできるスポーツは乗馬しかないと言われていました



▲「乗馬の魅力は言葉では語りつくせない」と話す辻田さん

経験したことのない感覚

馬の背に乗って走ると「風に抱かれている感じ」これは今まで経験したことがない感覚で、馬は風の生まれ変わりだと本当に思ったそうです。また、よく人を見て、騎手の意志を正しく伝えれば馬はそれに素直に応じいろいろな動きをしてくれます。馬が軽快に走ってくれると気分はそう快で「この快感だけはやめられない」と思う、そんな瞬間です。人と馬とは決して主従関係ではなく、馬との心の交流を肌で感じるができる乗馬はまさに無我の境地とのこと。「馬を乗りこなすには人間の一生は短かすぎる」と言われるように、遅い馬との出会いだったので、馬とかかわる時間をもっと欲しいと思うようになったそうです。

人のやさしさを引き出す不思議な力

夢は、自馬を持つこと。そして馬に乗れる人生を一日でも長く送りたい。「馬のことを考えただけで楽しくてしょうがない」という辻田さんは、気力、体力を充実させ、乗馬ができるようにと日々努力されているそうです。また、馬にはセラピー効果もあり、人間のやさしさを引き出してくれるので「馬は本当にかわいいんですよ」とその魅力を楽しそうに話す辻田さん。「運動嫌いの人にも乗馬はおすすめです。馬に乗ってバランスをとるだけで全身運動になりますよ」と、とびっきりの笑顔で話してくれました。

パークライフ 公園の冬景色で一句ひねってみませんか (古河総合公園)

公園の魅力を高めるには二つの方法があります。ひとつは、新しく施設を整備したり草花を植えたりする方法で、もうひとつは、絵画や写真、詩歌などで公園の魅力を表現するなど、公園を見つめる視点を変える方法です。俳句もそのひとつで、紙と鉛筆があれば気軽に楽しめるのが良いところです。

古河総合公園では平成13年から公園俳句を集めています。これまでに1,704句の参加をいただき、優秀作品253句を選出してきました。

応募された作品に詠まれている素材をみると、桃、蓮、公方、古民家、孔雀など公園の主役たちはもちろん、朽船、笹、あめんぼ、よし焼きの煙、草のおいなどの脇役たち、さらには、落ち葉、カエル、ヘビ、いも虫などの端役をも楽しんでいるのがわかります。

お正月で運動不足気味の皆さん、総合公園を散

歩しながら、いつもとは違った視点で、お気に入りの一場面を探してみませんか。授業で俳句を覚えた子どもたちのチャレンジも待っています。

【公園俳句概要】

3～4月の桃まつり俳句大会と、5月～翌年2月の公園逍遙吟句との二期に分けて募集して、毎回優秀作品10句程を選出しています。選考は古河市俳句協会に協力いただいています。

優秀作品集は「公園逍遙吟句選集」として古河総合公園公式ホームページでご覧になれます。



▲用紙と投句箱は、管理棟窓口に
あります

【問】古河総合公園管理棟

☎47-1129 FAX48-5685

✉ sougou-park@koga-kousya.or.jp

HP <http://www.koga-kousya.or.jp/koga-park/>

文化財の窓

辛卯年造立の供養塔

平成23年の^{えと}干支は^{かのとう}辛卯です。干支は十干(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)と十二支(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)の組み合わせからなり、60の組み合わせがあります。今年の干支である辛卯の年は60年に1度めぐってきます。起算点となる年の干支に1巡(60年)して戻ることを選暦といい、年齢では60歳の祝いとしています。

市内の関戸にある関戸観音堂(千手堂)の境内には、十九夜塔や二十三夜塔などの供養塔が多くのことっています。そのなかに上部に弘法大師坐像を半肉彫りにした供養塔があります。紀年銘は「正徳元辛卯七月廿七日」とあり、正徳元年(1711)の7月に造立されたもので、その年の干支は辛卯、今から300年前、60年を5回さかのぼった年になります。この供養塔は、弘法大師坐像の下中央に観音をあらわす種子(梵字)「サ」を刻



▲正徳元年銘 百番観音供養塔

み、「奉納西国坂東秩父百ヶ所二世安楽処」、その左右に「天下泰平 国土安全」とあります。この銘文から百番観音供養塔であることがわかります。百番観音とは、西国三十三観音・坂東三十三観音・秩父三十四観音の各霊場の札所を合計したもので、百箇所観音・百観音ともいいます。造立者である「総州葛飾郡関戸村 関根吉右衛門 法名乗喜」が二世(現世と来世)の安楽を願い、また天下泰平・国土安全を祈り、百番観音の各札所を巡礼・参拝し、納経あるいは納札を果たし、それを記念して造立したものと思われる。

この供養塔には「^{みょうおんかんぜおん}妙音観世音 ^{ぼん}梵^{のん}音^{かいちやうおん}海潮音^{しょうひ}勝^せ彼^{げん}世間音^{ぜこしじやうねん}是故須常念」という偈文が2行にわたって刻まれています。これは妙法蓮華經の觀世音菩薩普門品第二十五、すなわち^{かんのんぎやう}觀音經のなかの一文になります。

(三和資料館)

ミュージアムしゅー

museums in koga

鷹見泉石記念館 かやぶき屋根工事が始まります

先月号でもお知らせしましたとおり、鷹見泉石記念館は1月5日から3月15日まで、かやぶき屋根の一部改良工事のため臨時休館します。

鷹見泉石記念館は古河藩が藩士たちのために設けた武家屋敷のひとつで、幕末の古河藩家老・鷹見泉石が隠居後の最晩年を過ごしたところです。この建物は寛永10(1633)年、古河藩主・土井利勝が、古河城の御三階櫓を造ったときの残り材を使って建てたと伝えられています。もとの建坪は現在の2倍以上の100坪、屋敷全体は現在の4倍以上で、東西に長い広大な屋敷でした。維新时期、この屋敷は鷹見家の所有となりますが、現在、当館に収蔵されている国指定重要文化財「鷹見泉石関係資料」3,157点を含む泉石の残した膨大な歴史資料は、代々の子孫によってこの家の中で保管され今日に伝えられたのです。

平成2年、改修ののち古河歴史博物館別館として開館したこの建物は、質実な造りをした典型的な武家屋敷としても意義深く、日々多くの人が訪れ、四季折々の景観とともに親しんでいただいておりますが、長い年月を経てかやぶき屋根など全体的に老朽化が進んでいきます。特に棟(ぐし)の部分の損傷が激しく、雨水が浸入するおそれがあるため、今回の工事は特にこの棟の改修を中心に行われる予定です。改修期間、皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、どうぞご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、隣接する奥原晴湖画室「繡水草堂」は平常通り開館していますので、どうぞご利用ください。



▲鷹見泉石記念館



▲損傷の激しいかやぶき屋根の棟

臨時休館の期間

1月5日(水)から3月15日(火)

【間】

古河歴史博物館 ☎22-5211

図書館おすすめの図書

◇一般書

・日々コウジ中

柴本 礼 著



見た目はなんともないのに、突然人が変わったように暴力をふるったり、無気力になったり、すぐに物忘れをしてしまう…。高次脳機能障害を抱えた夫と、リハビリを全力で支える家族との日々を赤裸々に、ユーモラスに描く。

出版社…主婦の友社

分類…916シ

◇児童書

・不思議な黒板

山の仙蔵 文



1週間後の夜、ゾウさん公園で花火大会をすると4年4組のみんなは大切なものをさずかるだろう！未来を予言する不思議な黒板に、ある日うかびあがった文字に導かれ、子どもたちは互いに手を取りあって…。

出版社…パロル舎

分類…913フ (古河図書館)

健康情報局

禁煙生活、始めませんか？

たばこが大幅に値上げになり、「禁煙する！」と宣言した人、禁煙は続いていますか？年末年始は、アルコールを飲む機会も多く、つい1本とたばこを手にしてしまった人もいたのではないのでしょうか？

《たばこは毒物の缶詰》

たばこの煙には400種以上の化学物質が含まれています。そのうち有害物質は、200種以上、発がん物質は40種類あることがわかっています。たばこに含まれるニコチンは、ゴキブリの殺虫剤の主成分の一つであるほか、ヒ素(農薬)、ベンゼン(ガソリンの主成分)、ホルマリン(防腐処理剤の成分)、トルエン(シンナーの成分)などの有害物質が多く含まれています。

これらの有害物質を体内に取り入れているため非喫煙者よりも、さまざまな病気のリスクが高くなります。

《禁煙できない理由 ～ニコチン依存症～》

たばこの煙に含まれるニコチンには、強い依存性があります。たばこを吸うと、ニコチンが数秒で脳に到達し、快感を生むドーパミンを出し、すぐにたばこを吸いたいという欲求を生じさせます。吸い終わった瞬間か

ら、ニコチンによる離脱症状が始まってしまいます。これが「ニコチン依存症」といわれ、簡単に禁煙できない理由です。

では、一度たばこを吸ってしまうとやめられなくなってしまったのでしょうか？ 答えはNO！です。「禁煙したい」という気持ちがあれば、成功することができます。

《禁煙するために》

ニコチン依存には、「身体的依存」と「心理的依存」があります。ニコチンが不足することにより離脱症状がおきることを「身体的依存」といい、ニコチンパッチや市販のニコチンガムが有効です。「心理的依存」には、たばこを渴望し吸ってしまう行動的的症状と、喫煙の正当化により禁煙が不必要で不可能だと感じてしまう認知的症状の2つがあります。病院の禁煙外来でニコチン依存症の治療をするのも一つの方法です。禁煙成功率は最終診察まで完了した人の49%とのデータもあり、健康保険が適用されますので、なかなか成功できない人は、一度受診してみると良いでしょう。ご自身と大切な家族の笑顔を守るためにも、今から禁煙生活を始めませんか？

(健康推進課)

表紙写真

昨年(2009年)の12月5日(日)にとねミドリ館で古河市国際交流協会主催の「ウインターフェスティバル2010」が開催されました。当日は13カ国、637人の参加があり、それぞれの国の料理や、アトラクションの披露があり大盛況。参加したみんなが笑みを浮かべながら国籍や言語を越えた友好を深めていました。

今年も笑顔が多い年になりますように、お祈りいたします。(編集部一同)

寄付

東京電力(株)茨城支店下館支社(本橋久夫支社長)より、地域の防犯対策として公衆街路灯器具一式(20基)の寄付。

人口と世帯

(12月1日現在 住民基本台帳から)

総人口	144,876人 (-56)
男	72,675人 (-20)
女	72,201人 (-36)
世帯数	54,474世帯 (+30)

() 内は前月比



みんなで健康 カルシウムたっぷり **食育レシピ**
 “簡単” カブの葉とじゃこのふりかけ



(1人分)
 エネルギー=31kcal
 たんぱく質=3.0g
 脂質=1.8g
 カルシウム=100mg
 食塩相当量=0.3g

材料(4人分)

カブの葉60g、ちりめんじゃこ20g、すりごま小さじ4

作り方

- ①カブの葉はサッとゆでて冷水にとり、水けをしっかりと取って細かく刻む。
- ②耐熱容器に①を広げ、ラップをせずに電子レンジで約2分加熱する。ちりめんじゃこ、ごまを加えて混ぜ合わせる。

(食生活改善推進協議会)



アイドル登場



「ちょうだいな」

岩瀬陽紀くん

(1歳10カ月 磯部)



陽紀はお外が大好きで毎日元気いっぱい走り回っています。

たくさんお話ができるようになり、歌やダンスでも私たちを楽しませてくれます。

元気に大きくなってね。

(父：貴之さん・母：和江さん)

古河風土記

金の茶釜と宝の話

正月、田畑に鍬を入れる

「ひとくわめ(一鍬目)さつくりこ、ふたくわめ(二鍬目)さつくりこ、みつわめ(三鍬目)で金の茶釜を掘り出した。ホーイ、ホーイ。」こう唱えながら、鍬で畝を作っていくのだと。

10年ほど前、上根のIさんのお宅で、正月行事についてお話をうかがっていたら、鍬入りの話題となりました。Iさんの家では、1

月11日の鍬入りの朝、恵方(ほう)の田や畑へ行って、鍬で畝を3つ作り、シメと御幣(ごひ)をつけた松を立てる。その際、さきの唱え

言をする。鍬で作った畝には、半紙にくるんだ米とコウナゴをそれぞれ供える。その唱え言は家によつてさまざまで、尾崎

出身のHさんの回想録によれば、大きな声で「ひと鍬千両ホーイホーイ ふた鍬万両ホーイホーイ み鍬ホーイホーイ数知れず」と、

畑に3回鍬を入れたといいます。ところで、金の茶釜や千両が掘り起

こされるとはどういうことかというところ、一年の作柄を占い、豊作を期待するたえなのでしょう。もともと田畑

をはじめ、土地の所有権とやらは、いかにも人間にあるようなつもりですが、古くは、地下にいる神仏たちに



▲畝を3列作り、鍬入れする(東山田)

よって支配され、土地の利活用はその影響力に左右されると考えられてたようです。工事の前に地鎮祭を行って、建築の安全と邪霊を防ぐものでもそのためでしょう。また、おむすびがコロリンと落ちて、正直なおじいさんに福德をもたらすネズミたちが暮らしているなんてことも地下にはあります。つまり、この世と隔てた別世界があると考えられていたのです。そのような

思いもよらぬ異界には、すばらしい宝があるのではないかと。そしてすばらしい「宝」はそれこそ「田から」掘り起こされてしかるべきと。そう考えると豊かな作柄こそ「田からの(宝物)」といったところでしょうか。

さんの話。3回目の鍬入れで、金の茶釜を掘り出すなんて、けっこういい確率です。もし仮に私が正直じいさんになったとして「ここ掘れワンワン」と裏の畑で犬の鳴いたところを掘ったとしても、そうたやすく金銀財宝なんか掘り当てることなんかできないでしょう。……ん？、それは正直でないほうのじいさんだからだつて

古河歴史博物館学芸員 立石尚之